



誘導雷対策機器

シールド線用避雷器

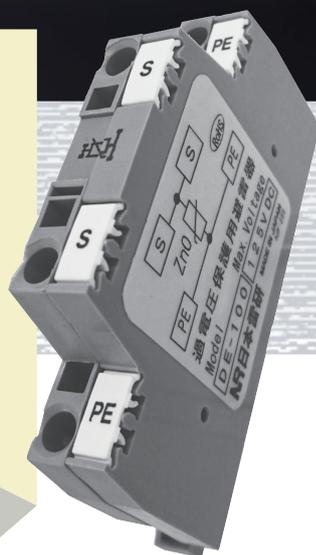
Model DE & SE

特長

- サージ吸収能力が大きい
- 非直線抵抗性の優れた酸化亜鉛素子
- 省スペースで使い易い薄型
- 応用範囲が広く
- 電源ラインの単線対応としても使用可能

用途

- 直流/交流電源ラインの単線対応
- 同軸線シールド非接地端
- 多芯ケーブルのシールド非接地端
- リレー接点・センサー・散水器

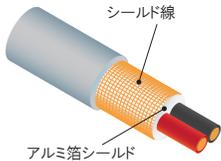


NR日本雷研ベクトル

性能

型 式	DE-48	DE-100	SE-100
最大連続使用電圧 U _c	DC65V	DC150V	DC170V
動作開始電圧	82V±10%	180V±10%	200V±10%
漏れ電流	DC65Vにて5μA以下	DC150Vにて5μA以下	DC170Vにて5μA以下
防護レベル U _p	135V以下 (8/20μs)	300V以下 (8/20μs)	340V以下 (8/20μs)
サージ電流耐量	5kA 2time (8/20μs)		8kA 1time (8/20μs)
使用温・湿度範囲	-40~+85℃ 85%RH以下(結露しないこと)		-40~+85℃ 85%RH以下(結露しないこと)
取付方法	DINレール取り付け		パネル直取り付け / DINレール取り付け
重量	約16g		約38g / 約42g
外形寸法 (mm)	W10×H43.5×D64.5		W14×H54×D48 / W18×H65×D60
接続方法	線差し込み接続(適合電線0.08~2.5mm ²)		M4ネジ端子接続
用途	リレーなどの開閉サージからの放電防止		シールド線非接地端からの放電防止
外形図			

結線



シールド線を工具でほぐし、ねじる様に束ねて、より線の様にして使用して下さい。



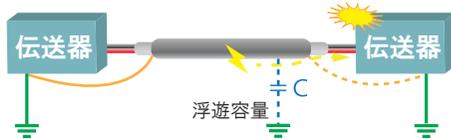
SEシリーズはネジ端子、DEシリーズは差し込み端子です。

結線しにくい場合は圧着端子などで他の電線と繋げて下さい。太く、短い電線が効果的です。

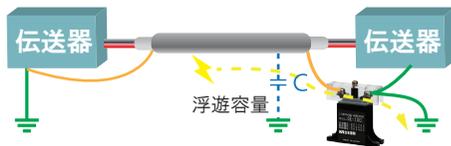
接続図・用途

接続例 シールド端にて

多芯ケーブルなどのシールド線の両端をそのまま配線するとノイズが入る場合があります。その時は片方を配線しない(浮かせる)方法でノイズ対策をします。ですが、シールドには浮遊容量があり、雷サージでシールド線からラインに飛び移り、機器を破損させることがあります。

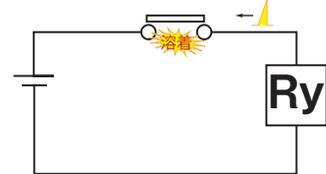


シールド-アース間にシールド用避雷器を接続し、雷サージを逃がす道を作ることで対策することができます。更に避雷器内の酸化亜鉛素子は静電容量があるため、ノイズ対策にもなります。

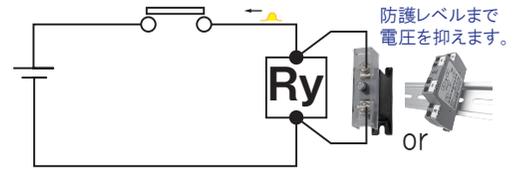


接続例 リレーの逆起電圧防止

リレー回路を遮断する際、電源電圧とは逆に10倍~20倍の高電圧(開閉サージ)が発生します。DC電源の場合は特に、この「逆起電圧」により、過電流が回路に流れ、破損・接点の溶着などを起こします。



逆起電圧の防護回路として避雷器を並列に接続します。防護レベル電圧まで抑制することで接点に負担をかけないようにします。この場合、避雷器に接地は必要ありません。



代理店

ホームページ
QRコード



有限会社 日本雷研ベクトル

〒546-0002 大阪府大阪市東住吉区杭全8丁目12番9号
Tel 06-6790-5678 Fax 06-6790-5155
http://www.vector-sh.jp